

事前伺い

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

山梨大学大学院 医学工学総合教育部
人間システム工学専攻

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山梨大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

企画・評価課

係長・ナトリ名取 カスヤ一也

電話番号 055-220-8358

(夜間) 055-220-8358

F A X 055-220-8799

e-mail kikaku@yamanashi.ac.jp

目 次

1	調査対象大学院の概要等	1
	(1) 設置者	1
	(2) 大学名	1
	(3) 大学の位置	1
	(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
	(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員	2
	(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況	2
	(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況	2
	(4) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況	3
2	授業科目の概要	4
	(1) 授業科目表	4
	(2) 授業科目数	4
	(3) 未開講科目	5
	(4) 廃止科目	5
	(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生の周知方法」	5
	(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	5
3	既設大学等の状況	6
4	教員組織の状況	7
5	その他全般的事項	8

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山梨大学

(2) 大学名

山梨大学大学院

(3) 大学の位置

〒400-8510

山梨県甲府市武田四丁目3番11号

(山梨県甲府市武田四丁目4番37号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学工学総合教育部 人間システム工学専攻(修士課程) 修士(工学)	年 2	人 18	人 36	基礎となる学部名等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(-) —	(-) 18	(-) 18	(-) 18	1.08	
志願者数	(-) —	(-) 18	(-) 18	(-) 24		
受験者数	(-) —	(-) 18	(-) 18	(-) 24		
合格者数	(-) —	(-) 18	(-) 18	(-) 24		
B 入学者数	(-) —	(-) 18	(-) 18	(-) 21		
入学定員超過率 B/A	(-) —	(-) 1.00	(-) 1.16	(-) 1.16		

- (注) ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[-] —	[1] 18	[2] 21	[2] 21	
2年次	[-] —	[-] —	[1] 18	[1] 18	
3年次	[-] —	[-] —	[-] —	[-] —	
計	[-] —	[1] 18	[3] 39	[3] 39	

- (注) ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [-]	計 [-]	[-%]
	うち平成19年度入学者 一人	うち平成19年度 一人	-%
	(主な退学理由) -		
平成20年度	計 [-]	計 [-]	[-%]
	うち平成19年度入学者 一人	うち平成19年度 一人	-%
	うち平成20年度入学者 一人	うち平成20年度 一人	-%
	(主な退学理由) -		
平成21年度	計 [0] 0	計 [1] 18	[0%]
	うち平成19年度入学者 一人	うち平成19年度 一人	0%
	うち平成20年度入学者 一人	うち平成20年度 一人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 18人	
	(主な退学理由) -		
平成22年度	計 [0] 0	計 [3] 39	[0%]
	うち平成19年度入学者 一人	平成19年度 一人	0%
	うち平成20年度入学者 一人	平成20年度 一人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 18人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 21人	
(主な退学理由) -			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医学工学総合教育部 人間システム工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	分野1 安全・安心マネジメント特論	1・2前		2		1	1				カリキュラムの充実を図るため、教員を追加(22) 担当教員変更のため、平成21年度より変更(22) 担当教員が昇任したため、変更(22)	
		1・2後		2			1					
	分野2	画像処理工学特論	1・2前		2		+	1				
		マイクロエレクトロニクス特論	1・2後		2			1				
		多次元生体信号処理特論	1・2前		2			1				
		シミュレーション工学特論	1・2前		2		1					
	分野3	人間指向機器加工学特論	1・2後		2			1				
		ユビキタスナノプロセッシング特論	1・2前		2			1				
		ナノマテリアル特論	1・2後		2		1					
	分野4	皮膚光学特論	1・2後		2		1					
		超音波工学特論	1・2前		2			1				
		量子光工学特論	1・2前		2		1	+				
	共通科目	科学特論	1・2後		2		1					
技術経営システム特論		1・2後		2								
インターンシップ		1前	2									
人間システム工学特論Ⅰ		1前	2			6	7	6	5			
人間システム工学特論Ⅱ		1後	2			6	7	6	5			
人間システム工学演習第一A		1前	1			6	7	6	5			
人間システム工学演習第一B		1後	1			6	7	6	5			
人間システム工学演習第二A		2前	1			6	7	6	5			
人間システム工学演習第二B		2後	1			6	7	6	5			
人間システム工学研究第一A		1前	2			6	7	6	5			
人間システム工学研究第一B		1後	2			6	7	6	5			
人間システム工学研究第二A		2前	3			6	7	6	5			
人間システム工学研究第二B		2後	3			6	7	6	5			

- (注)・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 11	科目 14	科目 0	科目 25	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	

- (注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	科学特論	2	1・2後	一般	選択	実施母体である7大学大学院合同セミナーの活動中止のため、代替処置について大学院教育の「実質化」を念頭に検討を行っている。 有

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生には、あらかじめガイダンス等を通じて履修希望科目の調査を行った上で、履修指導を行うため問題は無いと考えている。また、今後は、専攻の目的達成に向けさらなる充実を図るよう見直しを含め検討する。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{1}{25} = \boxed{0.04}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	山梨大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育人間科学部						1.08		山梨県甲府市 武田四丁目 4番37号	
学校教育課程	4	100		400	学士(教育)	1.11	平成10年度		
生涯学習課程	4	20		80	学士(教養)	1.12	〃		
国際共生社会課程	4	40		160	学士(教養)	1.03	〃		
ソフトサイエンス課程	4	40		160	学士(教養)	1.03	〃		
医学部						1.02		山梨県中央市 下河東 1110番地	医学部医学科は 平成22年度より 入学定員変更
医学科	6	125		655	学士(医学)	1.01	平成22年度		
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.04	平成7年度		
工学部						1.09		山梨県甲府市 武田四丁目 3番11号	物質・生命工学科を改組し、応用工学科、生命工学科を設置 (H16)
機械システム工学科	4	90	3年次10	380	学士(工学)	1.10	平成元年度		
電気電子システム工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.11	平成10年度		
コンピュータ・メディア工学科	4	75	3年次5	310	学士(工学)	1.04	〃		
土木環境工学科	4	75		300	学士(工学)	1.03	平成元年度		
応用化学科	4	50		200	学士(工学)	1.14	平成16年度		
生命工学科	4	35		140	学士(工学)	0.99	〃		
循環システム工学科	4	45		180	学士(工学)	1.04	平成10年度		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<医学工学総合教育部 人間システム工学専攻（修士課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
12	0	12	0	12	0	12	0	
(12)	(0)	(12)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：△1)

5 その他全般的事項

<医学工学総合教育部 人間システム工学専攻>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 9月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス (未定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。